

ぼくの町のたから物、松ヶ江ダム					
北九州市立松ヶ江南小学校	4年	北田広晴			
ぼくの家付近には、松ヶ江ダムがあります。					
ぼくがはじめてダムに行、たのは、3年生のゴールデンウィークに家族でハイキングをしたときです。					
ぼくは、いつもダムの下にある道を車で通りますが、そこからダムは見えないので、上まで歩いてのぼりてはじめてダムを見た時、きれいなところだなと思いました。					
水はすんでいて、そこにいすんでいる木の葉、ばがとけてすじだけ残っているのが見えました。					
ダムの下流を見おろすと、川がびっくりするほど下にある、ちよ、ここがくなりました。					
お父さんが、このダムのおかげで、雨がふらない日も続いても田んぼに水を入れてお米が作られることを教えてくれました。					
また、かんぱんを見ると、大雨がふり続く時には、川にこう水がおこらないようにダムに水をためておくこともわかりました。					

ダムを歩くと、ダムの水の量を深さのめもりを使、てはかる建物がありました。ダムで水の量をちょうせつしてくれてるんだなと思いました。

ぼくの家からはぜんぜん見えなけれど、ぼくたちの町を守、てくれている松ヶ江ダム、てすごいな~と思いました。

あれから、時々家族でダムにハイキングをしまさか、ぼくの友達にはまだ松ヶ江ダムのことを知らない人もいます。も、とたくさんの人にきれいなだけじゃなく、くらしを守、てくれる大切なダムだということを知、てほしいです。